

庭木に適した富山ゆかりのサクラ ～ コシノカモザクラ ～

(一社)日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村正史

庭木に適したサクラについては、本誌181号ではマメザクラとキンキマメザクラを、206号では富山ゆかりのサクラであるコシノフユザクラとコシノフクカサネを、215号では206号に引き続いて富山ゆかりのサクラであるフタカミザクラを、それぞれ紹介しました。

その後、富山ゆかりのサクラである新たな栽培品種が次々と発見されました。その中で、成長しても低木の特徴を保っているコシノカモザクラを紹介します。

1 発見の経緯

このサクラの原木は、高岡古城公園の小竹藪広場の西側にあります。高さは3.5m程度ですが、樹齢は30年以上と推定されています(写真1)。3月中旬頃に開花するため、その頃になるとキンキマメザクラが開花したと毎年新聞やテレビなどで報道され、県内では知名度の高いサクラとして知られていました。

富山県中央植物園の大原隆明氏はこのサクラの花の色が濃いことなどからキンキマメザクラとの報道に疑問を持たれ、詳細な調査を実施されました。その結果、カンヒザクラなどが関係した新たな栽培品種であることを明らかにされ、2018年に日本櫻学会の学会誌に公表されました。学名は、北陸地方の古称、「越の国」と富山県内における桜の保存等に尽力された加茂善治氏と加茂正三氏に由来し、*Prunus* 'Koshi-no-Kamo-zakura' と命名されました。

高岡古城公園にあるこのサクラは接ぎ木で増殖され、県内では高岡市や砺波市などに、県外では茨城

県(日本花の会結城農場)に植栽されています。富山県中央植物園にも植栽されています(写真2、3)。

2 特徴

このサクラは3つの特徴を持っています。

- ・ 3月中旬頃に開花する早咲きであること。
- ・ 写真1と3に示すように花の色が濃く華やかであること。
- ・ 写真1と2に示すように樹がコンパクトにまとまること。



写真1 高岡古城公園のコシノカモザクラ
(2022年4月3日に撮影)



写真2 富山県中央植物園のコシノカモザクラ
(2019年3月26日に撮影)

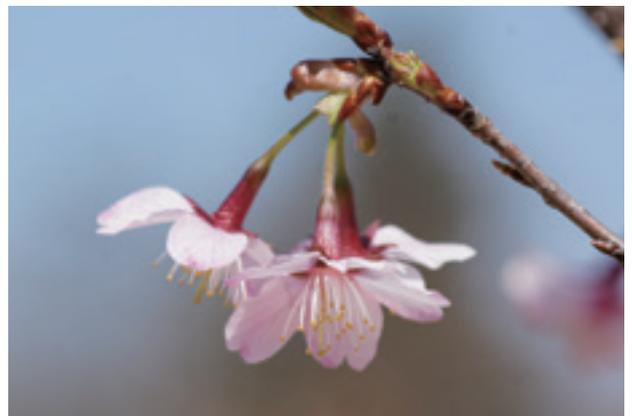


写真3 富山県中央植物園のコシノカモザクラの花
(2018年3月27日撮影)